



～戮力協心～ NO.41

2023年3月16日

発行責任者 池尻 和寛

編集責任者 情 宣 部

2023JR総連春闘 常駐期間突入
青年部員が山場を盛り上げる！

本社要請行動 実施

3月15日(水)11:00より、本部青年部は中央常任委員と各地青の代表者1名ずつ、計16名でJR貨物会社本社へおもむき、本社要請行動を行ないました。

要請に先立ち、3月9日に行なわれた『青年部版全国統一職場集会日』に参加した青年部員(371名)が書いた『抗議メッセージ』を本社人事部・石村GLに手渡し、「ここに書かれていることが青年部員生の声である。」と訴えました。要請内容の大筋は以下の通りです。

・「これ以上仲間と離れたくない！！」「お金が理由で後輩が辞めていくのは悲しい！」

低賃金による将来への不安から若年退職者が増えている。加えて、昨今の原材料費やエネルギー価格の高騰により青年部員の生活はより苦しさを増している。このまま給料が上がらなければ、今後入社希望者が減り、さらに要員不足が加速する。現に要員不足で無理な異動も発生。青年部員の生活実態をしっかりと把握し、経営陣にしっかりと伝え、ペア1万円満額を回答するべき！

・「地元で働きたい！」「地元に戻りたい！」

青年部員のニーズとして「地元になりたい」という声が上がっている。面談での本人希望を踏まえて配属を考えるべき。しかし、要員需給の関係でそれがかなわない場合も理解する。その為に帰省旅費がある。しかし年4回は少なく、距離制限で支給対象から外れる青年部員も多い。こうした青年部員にとってペア1万円への期待は高い。さらに諸要求の改善を完全実施されたい！

・「光熱費が2倍近くに！」「家族を養うために貯金を切り崩している！」

昨年の物価上昇率を会社は2.3%としているようだが、体感は違う。生活の為に節約しているが、それを上回る物価上昇。家族を養うためにはペア1万円は最低限必要。加えて、家族手当を基準内賃金に入れることを強く求める！

・「QOL(クオリティ・オブ・ライフ)の維持もできない！」「リフレッシュは安全につながる！」

職場の青年部員は疲弊している。休日はリフレッシュすべきなのに、物価高による生活苦で余裕がなく、そもそも要員不足で休みが取れていない。会社は「安全は人命を守ること」としているが、疲弊した状態では注意が散漫となり安全が守れなくなる。生活向上分も含めたペア1万円を求める！

・「女性設備を計画的に改善されたい！」

女性用設備がないという理由で就ける職種・業務が限定されるのはおかしい。それが理由で退職されるのはもったいない。採用やその後のキャリアを考え、計画的に女性設備の拡充を進めるべき！

**社長が全国の職場で見たのとは違い、本日の内容が職場・青年部員の現実だ！
青年部員は「安全・健康・ゆとり」の確保のため、ペア1万円の額での回答を強く求める！！**